



# とべだより

令和5年5月31日

6月号

横浜市立戸部小学校

学校教育目標： それぞれが飛べ みんなで翔べ ゆめいっぱい戸部

## 不易流行

副校長 田中 孝之



「不易流行」という言葉があります。これは私が仕事をする上で大切にしていきたいことのひとつです。「不易」とは時代を通じて変わらないもの。「流行」は時代に応じて変化するものを意味します。

5月は戸部小学校創立記念集会があり、これまでの戸部小学校の歩みが動画で紹介されました。そこにはいつの時代も「子どもが主人公」である姿が映し出されていました。様々な学校行事に全力で取り組み、豊かな表情を見せるかつての子どもたち。今年度も全校遠足では、高学年児童がリーダーシップを発揮し、企画・運営を行い、低学年児童は先輩たちに信頼と安心感をもって接する姿が見られました。生活科や総合的な学習の時間を中心にした学習場面では、子どもたちは「～したい。」「～しなければ。」と、必要感や切実感をもって活動しています。「子どもが主人公」であることは戸部小学校が誇る「不易」だと感じます。また、それを支えてくださっているのが、地域・保護者の皆様です。まもり隊の皆様は雨の日も風の日も子どもたちを見守ってくださり、地域の方が時に先生として子どもたちに協力して下さる。保護者の皆様は様々な活動で、学校にご協力いただき、ご家庭では子どもたちを育ててくださっている。地域・保護者の皆様の温かさをもまた戸部小学校が誇る「不易」であると考えます。

一方で、ここ数年、社会は大きく変化してきました。予測困難な変化を続ける社会の中で、戸部小学校も多くの「流行」に挑戦しています。かつてはテストでよい結果を出すことで評価された「学力」は、自分の考えや思いをどのように表現し、伝えるかが求められています。ペーパーテストだけでは測れない力です。戸部小学校ではAIにはできない「問いを見つける力」も大切にしています。教師たちは授業における子どもの姿や学びを振り返る姿から、そのような「表現する力」「伝える力」や「問いを見つける力」等を見取っています。また、ICTの浸透、活用により授業の形も変わりました。今年度はデジタルドリルの導入・活用も行っています。コロナ禍で様々な制限がある中でも、子どもたちの夢や願いをかなえるために、学校行事の見直しや再編成を行ってきました。これらを応援して下さるのもまた地域・保護者の皆様です。

戸部小学校の「不易」を大切にするためにも、今後とも大きな「流行」が必要な場面があると思われます。その際にも地域・保護者の皆様からのご理解とご協力が不可欠です。皆様どうぞ今後とも宜しくお願い致します。